

講座名	研究論文の書き方 (1～3)		担当者氏名	井下千以子・松下佳代	
講座コード	1802	日時	2018年8月24日(金) 13:00～16:30	教室	同志社大学今出川キャンパス 至誠館3階会議室
[講座の概要]					
<p>研究論文を書きたいが、どう書けばよいかわからない。学術雑誌に投稿はしてみたものの、いつも査読で落とされてしまう。そんな悩みを抱えておられる方はいらっしゃいませんか。</p> <p>この講座は、研究論文の書き方を、その基本から、本学会の雑誌『大学教育学会誌』に求められるレベルまで学ぶための講座です。大学院等で論文執筆のトレーニングをきちんと受ける機会がなかった方、論文執筆の経験の少ない方を対象としています。</p> <p>講師の井下千以子氏は、『思考を鍛えるレポート・論文作成法(第2版)』(慶應義塾大学出版会、2014年)、『大学における書く力考える力』(東信堂、2008年)などの著者であり、アカデミック・ライティング指導のエキスパートです。松下佳代氏は、大学のカリキュラム・授業・評価の研究者で、この6月まで『大学教育学会誌』の編集委員長を務めておられました。</p> <p>限られた時間ですので、この講座を受けたからすぐにより研究論文が書けるようになるとは限りませんが、論文執筆のポイントを知り、自分の研究論文の書き方を振り返ってどう直せばよいかを考える機会にはなるはずです。</p>					
[タイムテーブル]					
13:00～13:45 研究論文の書き方1(論文作成の基本)(担当:井下)					
14:00～14:45 研究論文の書き方2(序論の構成の分析)(担当:井下)					
15:00～15:45 研究論文の書き方3(『大学教育学会誌』に求められる水準)(担当:松下)					
15:45～16:30 懇親会					
[目標]					
<ul style="list-style-type: none"> 研究論文の書き方と考え方の基本となるポイントを学ぶ。 『大学教育学会誌』の論文を用いて、序論の構造を分析し(宿題)、ピアレビューによって論文の基本スタイルを理解する。 『大学教育学会誌』の「研究論文」「事例研究論文」について、求められる水準、注意すべきポイントを知る。 					
[受講資格・定員]					
個人会員及び団体会員に所属の個人で、大学院等で研究トレーニングを受けた経験の少ない者 定員:30名					
[宿題]					
最近の『大学教育学会誌』の論文のうち1本を選び、その序論について分析してくる。 *分析対象とする論文と分析の視点は、受講者に事前に提示します。					
[参考書]					
井下千以子『思考を鍛えるレポート・論文作成法(第2版)』(慶應義塾大学出版会、2014年)					